

第 4 回 定 例 会

# 教 育 行 政 報 告

平 成 3 0 年 1 1 月

北 広 島 市 教 育 委 員 会



平成30年第4回定例会の開会にあたり、教育行政報告を申し上げます。

## 1 小中一貫教育の取組について

小中一貫教育の取組についてであります。11月9日、北海道教育委員会による「小中一貫教育支援事業」に係る指定校として、北の台小学校が授業公開を行いました。市内外の教職員30人以上の参加があり、小中一貫教育の具体的な取組について研修を深めたところであります。

また、11月9日・10日には、岩手県大槌町において開催された「小中一貫教育全国サミット」に教職員4名と事務局職員1名の5名を派遣し、公開授業や研究協議会、分科会などを通して、実践的な取組について研修を深め、その成果を各学校へ還流したところであります。

11月13日からはエルフィンパーク、市役所5階市民ギャラリー及び中央公民館におきまして、「北海道教育の日」協賛事業として小中一貫教育パネル展を開催し、各中学校区の取組などを中心に紹介し、市民の皆様への啓発にも努めているところであります。

## 2 北海道日本ハムファイターズとのパートナー協定に基づく小中学校における出前授業について

次に、北海道日本ハムファイターズとのパートナー協定に基づく小中学校における出前授業についてであります。北海道日本ハムファイターズベースボールアカデミーのコーチを派遣していただき、今年度は双葉小学校、西部小学校、東部小学校において、投球技術や走力等の向上を目的とした体育の授業を行ったところであります。

児童からは、「楽しかった」「わかりやすかった」「飛距離が伸びた」などの感想が聞かれました。

また、西部中学校、東部中学校におきましても、同様に講師をお迎えし、キャリア教育に係る講演を行ったところであり、真剣に聞き入る生徒の姿が印象的でありました。

今後、3か年をかけて、全小中学校において同様の授業に取り組むこととしており、児童生徒の体力の向上や、職業観の醸成が図られるものと考えているところであります。

### 3 エコミュージアム講演会について

次に、エコミュージアム講演会についてであります。 「まちを好きになる市民大学」開講10周年を記念し、10月6日に講演会「まち全体が博物館 住民一人ひとりが学芸員」を開催しました。

講師には、山形県朝日町<sup>あさひまち</sup>エコミュージアム協会副理事長の安藤竜二氏<sup>あんどりゅうじ</sup>をお招きし、全国に先駆けてエコミュージアムの推進に取り組んだ朝日町の様々な取組事例などについて講演をいただきました。

講演会終了後には、ワークショップを開催し、住む人の記憶を記録する「聞き書き」の大切さや楽しさを学ぶなど、改めてエコミュージアムのあり方や取組について考える機会となったところであります。

### 4 就学援助新入学準備金の増額について

次に、就学援助新入学準備金の増額についてであります。 国の要保護児童生徒援助費のうち、新入学児童生徒への入学準備金の単価が本年度末に増額改正されますことから、本市の就学援助新入学準備金につきまして、増額するとともに入学前の適切な時期に支給することといたしました。

なお、本定例会において、必要な経費の補正予算を提案させていただいたところであります。

## 5 芸術文化ホール及び図書館開館20周年記念事業について

次に、芸術文化ホール及び図書館開館20周年記念事業についてありますが、本年度開館20周年を迎えた両施設において記念事業を開催したところであります。

芸術文化ホールでは、札幌日本大学高等学校吹奏楽部がゲストとして出演した札幌交響楽団の記念公演や読み聞かせ公演などを開催、ギャラリーでは、過去に展覧会等で受賞歴のある市民の作品や星槎道都大学からの出展による展示会を催し、多くの方々に鑑賞していただいたところであります。

また、図書館では、開館以来14,018冊の最多貸出し冊数となった家族を「ベストリーダー家族」に認定し読書活動を紹介させて頂いたところであります。

今後も、ご支援頂いているボランティアの皆様との協働により、本市の文化芸術の振興に努めてまいりたいと考えているところであります。

以上申し上げ、教育行政報告といたします。